

1. 練習船「こじま」 世界一周航海から無事帰港



遠洋航海から帰港した練習船「こじま」

8月11日、練習船「こじま」は95日間、総航程約45,000キロメートルにおよぶ遠洋航海を終え、多数の教職員、家族に迎えられる中、無事に海上保安大学校（広島県呉市）へ帰港しました。遠洋航海を通じて船舶の運航に関する技能の修得、海上保安業務に必要な訓練を行うとともに、寄港地では各国の海上保安事情を学び、施設見学やレセプションを行い、実習生は皆大きく成長して帰港しました。

2. 震災復興イベントに音楽隊が参加

音楽隊の
コンサートの様子



うーみんとの記念撮影

イベント会場に設置された
海上保安庁ブース



8月15日、新潟県三島郡出雲崎町において、中越沖地震及び東日本大震災の復興を祈願した「東日本大震災復興支援 汐風ドリリー夢カーニバルⅣ」が行われ海上保安庁音楽隊が参加しました。地元出雲崎町の観光大使である演歌歌手ジェロさんの「海雪」を含む8曲を演奏したほか、会場では第九管区海上保安本部が学生募集活動、海洋調査教室等を実施して来場者へ海上保安庁の業務紹介を行いました。

○かいほニュースは海上保安庁ホームページでもご覧いただけます。
<http://www.kaiho.mlit.go.jp/info/kaihonews/index.html>

海上保安庁 〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3
03-3591-6361 (代表)
(編集・企画) 海上保安庁総務部政務課 政策評価広報室

～自己救命策 3つの基本～

海に落ちても沈まない
ライフジャケット
の着用



家中でも大丈夫(防水パックの確保)
携帯電話の携行



海のものも……
118番の活用



3. 子ども霞が関見学デー



制服体験コーナーで
うみまると記念撮影



(左から)くにもる、キビタン、うーみん
の夢の共演が実現



子どもたちに大人気の海上保安庁ブース

8月17日、18日の二日間、国土交通省はじめ各府省庁等はそれぞれの特色を生かした業務紹介や様々な体験コーナーを通じて、子どもたちに行政の仕事への理解を深めてもらおうと、「子ども霞が関見学デー」を開催しました。海上保安庁では制服体験コーナーや「うみまる、うーみん」との写真撮影、パソコンを使用した業務紹介などを行い、子どもたちは普段知ることのできない海上保安庁の仕事に興味津々な様子でした。

4. 中国漁業監視船が領海内に侵入



中国漁業監視船を監視警戒中の巡視船「りゅうきゅう」

8月24日、尖閣諸島久場島北北東のわが国領海内に中国漁業監視船2隻が一時侵入しました。2隻は、領海出域後も接続水域内の航行を続けたことから巡視船、航空機が、わが国領海に入らないよう無線等で警告しながら警戒をしていたところ、同島を時計回りに一周した後、西向け離れました。なお、中国漁業監視船が領海内に侵入するのは今回が初めてのことです。

○かいほニュースは海上保安庁ホームページでもご覧いただけます。
<http://www.kaiho.mlit.go.jp/info/kaihonews/index.html>

海上保安庁 〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3
03-3591-6361 (代表)
(編集・企画) 海上保安庁総務部政務課 政策評価広報室

海の「もしも」は**118番**

